

第 5 回秦荘町・愛知川町合併研究会会議録

日時：平成 15 年（2003 年）5 月 7 日（水）午後 2 時から午後 4 時 20 分まで

場所：愛知川町役場 3 階会議室

出席者

委員

秦荘町：北川眞道副会長、上田太治副会長、上林貞委員、林正司委員、中村忠夫委員、水野清文委員、宇野昌弘委員、廣田進委員、小泉勇一委員、高橋正夫委員、村西作雄委員、西川博司委員

愛知川町：平元真会長、森隆一副会長、久保田九右衛門委員、藤田進委員、西川昌夫委員、辻野彰男委員、竹中秀夫委員、石部稔英委員、青木信吉委員、姓農明彦委員、杉本幸雄委員、徳田義一委員

オブザーバー：村木一夫議会事務局長、山岡勇市議会事務局長

事務局：細江新市事務局長、藤居祐司係長、北川三津夫係長

欠席者：北川孝司事務局次長

1. 開会あいさつ

細江局長　みなさんこんにちは。本日は大変お忙しいところご出席をいただきましてありがとうございます。愛知川町の竹中委員と久保田委員が少し遅れるということで連絡がまいております。それでは時間もまいりましたので、ただいまから第 5 回の秦荘町・愛知川町合併研究会を開催させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。前回の第 4 回の研究会の時に次回については、フリートーキング方式で非公開でさせていただくということでお決めにいただきました。今回お配りさせていただいております次第には、15 年度の議案 2 件提出させていただいております。今報道機関として、びわこ放送がお見えになっておりますが会議の冒頭の模様だけを撮らせてほしいということで、フリートーキングの方は退席するということですのでご了解いただきますようよろしくお願い致します。それでは、平元会長の方から開会のご挨拶をいただきます。

平元会長　みなさんこんにちは。5 月の連休も終わりましたみなさま方にはたいへんご多用の中を、先程来事務局のほうから申し上げておりますが第 5 回の秦荘町・愛知川町合併研究会にご出席いただいておりますことありがとうございます。また、日ごろは、両町の町政各般につきましていろいろとご支援ご指導をいただいておりますことに重ねて御礼を申し上げる次第でございます。また、後程事務局の職

員の方からご紹介があらうかと思いますが、以前から申し上げておりますとおり、またご決定をいただいておりますとおり4月1日から当研究会の事務局を愛知川町役場3階に設置をさせていただいて、秦荘町から2名の職員がそして愛知川町から2名の職員が出向させていただいて事務局の体制を整備させていただきましたことをご報告申し上げたいと思います。また、先般来統一地方選挙が行われまして秦荘町の北川町長様におかれましては5選目の再選をされまして本日もご出席をいただいておりますが、心からお祝いを申し上げたいと思います。また、今後につきましてもお体に十分ご留意をされまして秦荘町の発展のために、また、合併研究会の事業推進のために格段のご支援ご協力をお願い申し上げたいとこのように思っております。なお、本日の会議におきましては先程来事務局が申し上げておりますとおり、前段事務局のほうから報告案件、また、議題に2件の案件をご提案申し上げてご審議をいただきたいと思います。その後休憩をはさんでフリートキング方式でいろいろとみなさま方のきたんのないご意見を拝聴させていただきながら会議を進めさせていただくと同時に合併研究会のこれからの推進を図ってまいりたいとこのように考えておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。簡単でございますがご報告方々冒頭にあたりましてのご挨拶にかえさせていただきます。どうかよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

2. 委員および事務局紹介

3. 報告事項

細江局長 ありがとうございます。それでは、本日の次第に基づきまして順次進めさせていただきますと思います。2番目でございますが今会長の方からありましたように4月1日の人事異動に伴いまして愛知川町の方で異動がございました。資料の1ページでございますが委員会の委員名簿をつけさせていただいておりますが、3号委員、オブザーバーに異動がございましたので自己紹介をお願い致したいと思えます。

杉本委員 みなさまたいへんごくろうさまでございます。4月の定期異動に伴いまして保健福祉課長を命ぜられました杉本と申します。福祉関係初めてでございますが一生懸命がんばっていきたく思いますのでどうかよろしくお願い申し上げます。

徳田委員 みなさまたいへんごくろうさまでございます。総務課長の徳田と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

山岡オブザーバー たいへんごくろうさまでございます。4月1日の定期人事異動によりまして議会事務局長を預かることとなりました山岡といいます。何分初めてでございます。みなさまがたのご援助をよろしくお願い申し上げます。

細江局長 それから申し遅れましたが、1ページの下の方に書いております事務局体制

でございますけれども、4月1日より事務局を設置していただきました。事務局長をおおせつかりました細江でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。それから次長の北川でございますが今日は、急用ができて欠席をさせていただいておりますがよろしくお願い申し上げたいと思います。それから、藤居係長と北川係長でございます。4月1日からスタートさせていただきまして、この4名一丸となってこの事業の取り組みをさせていただきたいと考えております。最後に手をたたいて喜べるような成果が得られますように一生懸命努めさせていただきたいと思っておりますので委員各位の格別のご指導とご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。それでは、次に報告案件ということで報告させていただきたいと思っております。次のページでございますが研究会の方に幹事会と専門部会を置くというようなことで規約を作っていただいております。幹事会の幹事長は秦荘町の総務課長さん、副幹事長に愛知川町の総務課長さん、それから幹事としまして下に挙がっておりますけれども各専門部会のそれぞれの部会長、副部会長があたりということで、それぞれ四部会の部会長、副部会長を決めさせていただいておりますのでご報告をさせていただきます。それからもう一点でございますが3ページ4ページでございます。これは、総務省の方から文書が来ておまして市町村合併の手続きの迅速化ということでまいってございます。4ページを見ていただきますとその流れが書いているわけでありますが、合併する前の一番最初の議会議決は、法定協議会の議会議決であります、そのあと協定を結びまして協定が整いますと最終の合併に向けての合併の議会議決をいただくことになっております。その議決前に総務省と事前協議をすることになっておりますけれども、この協議が廃止ということになってございます。それから次に、県あるいは総務省と正式に協議することになってございます。これが、いままで40日ほどかかっておりましたが10日間で事務を済ませるというものでございます。それから一番右端に書いておられますのが官報の告示でございます。これも、40日かかっておりましたのが20日以内に処理をするというようなことで総務省の方から事務の迅速化を図るということで文書がまいっておりますので付けさせていただいております。それから5ページでございますけれども平成14年度の当研究会の決算見込みをあげさせていただいております。一番下に書いておりますように96,417円を15年度へ繰越させていただく予定でございますので報告をさせていただきたいと思っております。以上が報告案件ということで3件報告をさせていただきました。以下4番目以降につきましては、会長が議長として進行の方をよろしくお願い申し上げます。

4．会議録署名委員の指名

5．議事

平元議長　　ごくろうさまでございました。それでは、本日の会議を開催させていただきたいと思います。本日の会議録の署名委員さんの指名をさせていただきたいと思います。本日の会議録の署名委員さんには、秦荘町の中村忠夫委員さん、愛知川町の辻野彰男委員さんどうぞよろしくお願い致します。それでは、続きまして議事にはいりたいと思います。まず、第1号議案平成15年度秦荘町・愛知川町合併研究会事業計画（案）について、第2号議案平成15年度秦荘町・愛知川町合併研究会予算（案）についていずれも相互に関連がございますので、一括議題とさせていただきますと思いますが、ご異議ございますか。

全員　　　　異議なし。

平元議長　　ありがとうございます。それでは、事務局の説明をお願いします。

細江局長　　それではまず、第1号議案のほうから説明させていただきたいと思います。

6ページでございます。平成15年度秦荘町・愛知川町合併研究会事業計画（案）について上記の議案を提出させていただくということで、平成15年5月7日秦荘町・愛知川町合併研究会会長 平元 真。事業計画案としまして1番から5番まであげさせていただいております。1番の研究会の開催ということで、月1回程度の予定で開催させていただくように考えています。また、必要に応じまして随時に幹事会および専門部会を開催させていただきまして、その調査報告等につきまして研究会の方へ挙げさせていただくというような考えでございます。それから、2番目でございますが広報啓発活動の実施ということで研究会だよりの発行につきまして、これも月1回程度の発行をさせていただく予定でございます。それから、ホームページの開設でございますが6月中旬頃に開設予定ということで、今手続きの方をとりかかっているところでございます。それから3番目でございますが、先進地視察研修の実施ということで6月に予定をさせていただいております。これは、前回の時にお決めいただきましたように、愛媛県の内子町・五十崎町の合併協議会の方へ視察をさせていただくということで考えております。それから4番目でございますが、合併に関する調査研究ということで2町合併におけます合併の効果と課題それから財政収支および経費等増減効果の研究、事務事業の現状と課題ということで挙げさせていただいております。前回の時も今後の事業の取り組みということでご意見をいただいておりますが、その関係をまとめさせていただいて挙げさせていただいております。最後5番目でございますが、合併講演会の開催ということで講演会シンポジウムを開催してはというご意見等ございまして合併講演会の開催を予定させていただいております。そのほか、研究会等でいろいろとご意見ございましたらその時随時計画に盛り込ませていただいて、ご協議をいただこうかなと考えておりますのでよろしくお願いしたいと思います。続きまして第2号議案でございます。第2号議案平成15年度の秦荘町・愛知川町合併研究会予算（案）についてでございます。8ページでございますが歳入歳出の予算で歳入歳出それぞれ3,947千円

ということで挙げさせていただきました。9ページの方に事項別明細書をつけさせていただいております。こちらのほうは歳入で町の負担金ということで2,810千円ということで挙げさせていただいております。それから、補助金といたしまして1,040千円、繰越金としまして96千円、諸収入としまして1千円でございます。それから10ページが歳出でございます。運営費の会議費ということで委託料を262千円計上させていただいております。説明書きの方に書いておりますように、12,000円と29,500円で単価が分かれておりますが、12,000円の方につきましては録音をしたもので会議録を作ってください、高い方につきましてはこちらの会議に来ていただきまして録音をしながら会議録を作成していただくということで6回予定をさせていただいております。今後の重要な時だけ派遣させていただこうということで考えております。次に運営費の事務費の方でございます。旅費につきましては職員の大津市、彦根市への出張旅費79千円でございます。それから消耗品費が150千円、役務費は通信運搬費としまして61千円、使用料および賃借料としまして240千円でコピー機使用料を挙げさせていただいております。それから次に原材料費でございますが264千円。これは事務局を設置させていただきましたが、和室の畳をあげまして床を一部改造しましたのでその原材料費でございます。それから事業費の事業推進費、報償費でございますが131千円ということで挙げさせていただいております。先進地視察研修先の手土産、合併講演会の講師謝金ということで2回分100千円計上させていただいております。それから講演会の手話通訳の報償費でございます。旅費につきましては先進地視察研修の費用弁償でございます。需用費食糧費につきましても先進地視察研修の昼食でございます。手数料につきましては合併研究会だよりとホームページ作成で2,026千円を計上させていただいております。使用料および賃借料につきましては、先進地視察研修に伴います費用としまして255千円それから最後に予備費として5千円を計上させていただいております。よろしくご審議の程お願いします。

平元議長 はい、ありがとうございます。ただいま、第1号議案および第2号議案を事務局より申し上げました。これについてご質疑、ご質問ございませんか。

辻野委員 はい。

平元議長 辻野委員

辻野委員 これで5回目であります。4回目が3月26日に開催され、その間統一地方選挙等がありまして開催できなかったわけですが、こんにちまで4回研究会を重ねてまいりましたが、これは研究会を推進するための準備会と申しまししょうか、前段階の研究会ではなかったかなと。その研究会の規約でございます第2条に4項目あるわけですが、4項目全部できるのかできないかは別にしまして、このようなものやっていくためには少なくとも月2回定期的にやっていってはどうかと。それともうひとつは、会長が愛知川町長で副会長が3名おられましてそのうちのー

人が秦荘町長さんということで、どうも事務局の方で両者の日程調整で時間がとれないということがあろうと、失礼な言い方になるかもしれませんが、場合によっては会長、副会長のどちらかが欠席されることがあっても、定期的に日を決めて開催し、もう少しつっこんだ議論をし、この規約に書いております4項目についてさらなる研究をしていかなければならないのではないかと思います。提案をさせていただきます。

平元議長 はい、ありがとうございます。ただいま、辻野委員の方から月2回程度定期的に合併研究会を開催してはどうかという意見が出されましたが、これにつきましてみなさんの方からご意見ございませんでしょうか。はい、中村委員。

中村委員 今、辻野委員の言われることもよくわかるのですが、委員自体が協議に対していろいろな意見を言うより、幹事会に諮ってやっていっていていると思うが。月2回、3回専門部会ですので、そこでほんろうするような問題でも億劫ですね。また、召集もいいと思いますが、かように思うのですが、私の意見として。

平元議長 他にございませんでしょうか。はい、藤田委員。

藤田委員 議案前後するかと思いますけれど、1号議案の第3項目先進地視察研修の実施、内子町・五十崎町に行くということですが、研修のテーマ・ポイントをしっかりと踏まえて研修したほうが効果効率がいいと思います。だから、一部代表質問という形で一人が3問ぐらいのテーマを絞って研修を受けた方が、のんびんだらりとみなさんが質問するとまとまりがつかないということで、やはり問題点を十分提議してその問題点を聞きながらやっていったほうが、なお一層効率がいいのではないかと思います。それと、合併協議会の委員の報酬および費用弁償、このへんの規定はどうなっているのか。当然今は協議会でございますけれども、法定協議会が設置されれば当然報酬ならびに費用弁償がついてまわるだろうと思いますが、その辺をご答弁いただきたいと思います。

平元議長 はい、ありがとうございます。ただいまの藤田委員の後段の質問について事務局。

細江局長 今、ご質問いただきました先進地視察研修の旅費の関係でございます。費用弁償というようなことで申し上げさせていただきました。両町におけますところの非常勤の特別職、あるいは職員につきましても、職員の旅費規程等をもって算出させていただいて、ここに挙げさせていただいております。旅費それから宿泊の分をあげさせていただいておりますのでよろしくお願い申し上げます。

平元議長 はい、それでは先程来ご質問いただいております研究会を月2回定期的にしてはどうか、あるいは中村委員の事務的なことは幹事会ですので、何かあれば非常召集等々してもいいけどということ、藤田委員の先進地視察研修について集中的に短期間の中で研修するので質問事項等詳細にしておく、こういったご提案がございました。月2回あるいは、定期的な会議等々につきましては事務局および私ども

の方でいちど協議をさせていただいて、またお諮りさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

全員 結構です。

平元議長 はい、ありがとうございました。それでは、他に第1号議案第2号議案についてご質問ご質疑ございませんでしょうか。ないようでしたら採決に入らせていただいてもよろしいでしょうか。それでは、第1号議案平成15年度秦荘町・愛知川町合併研究会事行計画（案）について、第2号議案平成15年度秦荘町・愛知川町合併研究会予算（案）について、いずれも原案どおりご承認することにご異議ございませんか。

全員 異議なし。

平元議長 ありがとうございます。それでは、第1号議案、第2号議案原案どおり決定いたします。ありがとうございました。それでは、続きましてその他の案件でございますが、まず事務局の方から何かございますか。その前にたいへん暑うございますので上着等々を脱いでいただきたいと思います。それでは、事務局の方よりしくをお願いします。

6. その他

細江局長 それでは、事務局の方からでございますが2件ばかりご相談申し上げたい件がございます。まず1件目でございますが、先進地視察研修の関係でございます。これにつきましては、もうひとつの資料を用意させていただいております。合併研究会先進地視察研修実施（案）ということで日にちにつきましては、できるだけ早く決めてほしいということも聞かせていただいております。内子町の方へ連絡させていただきまして、6月の定例議会もありますし次が第8回目の合併協議会を開催する日が近づいているということで、できれば6月下旬にお願いしたいということでございました。そのようなことで、両町の議会事務局長さんとも相談をさせていただきながら日程を6月26日から27日ということで、最初の26日に研修をさせていただくというようなことで、内子町の役場の方へ連絡をさせていただいてご承諾をいただいております。本日決まりましたら文書をもって正式に依頼をさせていただこうと考えております。すでに予算でそれぞれ先進地視察研修の費用につきましては計上させていただいておりますけれども、約20名程度の予算を計上させていただいております。前回意見がありましたように全員がよせていただくということはなかなか難しく、何かあった場合に大変なことになるということもございまして、この場で参加者につきましてお決めにいただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

平元議長 はい、ただいま事務局の方から説明申し上げました、先程決定いただきまし

た予算に基づいて6月26日および27日に視察研修をさせていただきたい。また、先程事務局が申し上げておりますとおり、また先般も上田副会長さんの方よりご提案をいただいておりますが、全員が行くのも非常に多すぎるといったこともございまして、ある一定の委員のみなさまを絞って研修をしてはどうかといったことがございましたので、どういった人数のなかで研修に参加するのか、ご意見等ございましたらお聞かせいただきたいと思います。この件につきまして何かございませんでしょうか。

水野委員 20名程度ということは、会長、副会長を含めて20名程度が行くということですか。どのような腹案で20名程度となったのですか。上田副会長が言ったからそうなったんですか。根拠はなんですか。

広田委員 事務案があれば事務局案をお願いします。なければ結構ですが。

平元議長 先程事務局が申しあげました20名という根拠ですが、大変せんえつでございますが私の方から申し上げたいと思います。会長、副会長で4名、2号委員の議会の議員さん両町で10名、3号委員の代表として幹事会の幹事長および副幹事長で2名、これは両町の総務課長でございます。そして、合併研究会事務局の職員4名で20名という考え方で、20名程度とということで申し上げさせていただいた訳であります。以上でございます。この件につきまして何かございませんでしょうか。

広田委員 結構です。

平元議長 せんえつでございますがこの20名に対しての根拠を申し上げさせていただきました。これでよろしゅうございますか。

全員 異議なし。

平元議長 それでは再度申し上げますが、会長、副会長で4名、2号委員の議員のみなさんで10名、3号委員の代表として幹事会の幹事長、副幹事長両町の総務課長で2名、合併研究会事務局の職員が4名、合計で20名ということでございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。続きまして、その他事務局。

細江局長 どうもありがとうございました。視察研修の日程等詳細につきましては文書でもって通知をさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。それでは、もう一件でございますが事業計画にあげさせていただいております6ページの5番目でございますが合併講演会の開催ということで、計画を事務局の方でもたさせていただいておりますので、これを報告させていただいていろいろご意見をいただきたいと思います。資料につきましては、右肩上的に資料2というのを置かせていただいております。合併の講演会をさせていただこうということで、会長、副会長と相談させていただいて、だいたい日程等案を作らせていただきました。あまり遅くに合併の講演会をしましても意味がないということもあります。6月の下旬に視察研修会を行いますので7月の早いうちにしておいた方がいいのではと考えさせ

ていただきまして、計画をたてました。秦荘町・愛知川町の合併講演会ということで案を作りました。開催テーマ要旨につきましては、あとで説明させていただきませんが、主催は当研究会、秦荘町、愛知川町でございます。開催日につきましては、第1会場としまして平成15年7月5日(土)午後7時30分から9時30分となっております。もう少し変更になるかもわかりませんが、2時間みえておりますがもう少し短くしていこうかなと考えております。場所については、ハーティーセンター秦荘。それから第2会場につきましては、平成15年7月12日(土)の同じ時間で愛知川町の中央公民館で開催させていただく予定でございます。これは、講演会でございますので、講師の方ですが織田直文先生をお願いしようと思っております。現在、京都橘女子大学の教授ということでございます。平成5年の2月に秦荘町の方でまちづくりシンポジウムをされておられますが、その時のコーディネーターとして来られております。それから、平成11年12月から平成13年8月まで愛知川町の第3次総合計画の審議会の会長を務めていただいております。このようなことで会長と相談させていただいて、織田先生には日を空けておいていただいているような状況でございます。次めくっていただきますと、こちらのほうで勝手にございましたけれど開催のテーマということで1番から4番まで挙げてございます。思いつくようなところで挙げさせていただいておりますけれども、ご意見いただいてどれかに絞り込んで開催をしていこうかなと思っております。テーマでございますが、 みんなで考えよう！ふれあいと笑顔いっぱいのもちづくりに向けて 快適なコンパクトタウン愛知をめざして 将来のもちづくりと合併を考える ～今、なぜ小規模合併か～ が、これは次のページにもついてありますようにまちづくり未来探訪 ～合併議論の中でまちづくりを考える～ ということ、これは他の合併協議会の方で講演されたもので資料をいただいておりますので参考につけさせていただいております。テーマとして事務局案として4つ挙げさせていただいております。それから、講演会の要旨ということで と を挙げさせていただいております。このようなことでテーマあるいは講演の要旨について案として挙げさせていただきましたが、テーマにつきましてはこの中のどれかということで絞っていただくなり、他によいテーマがございましたら発表していただけたらなと思っております。講演の要旨につきましては、 と をそれぞれ挙げておりますがどちらかぐらいで絞っていかうかと考えさせていただいております。それから、3枚目に講演会アンケートということで事務局案をつけさせていただいております。せっかく秦荘町と愛知川町で講演会をさせていただきますので、参加者に対してアンケート調査をさせていただこうかなということで作らせていただきました。住所、年齢、性別、講演会の感想、今後の行政に最も期待することはなんですかということで6つ挙げております。それから、市町村合併の必要性、7番目が合併に対してや研究会への意見要望を書いていただくということで案を作らせていた

だきましたので、ご検討をいただければありがたいと思いますのでよろしくお願い致します。

平元議長 はい、ごくろうさまでした。だだいまその他の２点目につきまして、講演会の開催につきまして事務局が説明を申し上げました。まず一点目でございますが開催の期日等第１会場、第２会場の開催要項を説明いたしておりますがこれでよろしゅうございますか。

全員 異議なし。

平元議長 それでは、開催の期日は第１会場平成１５年７月５日（土）秦荘町、第２会場平成１５年７月１２日（土）愛知川町ということでよろしくお願ひしたいと思ひます。続きまして開催のテーマにつきまして先程４項目ご説明申し上げておりますが、どれをテーマとして講演会を開催するかご協議をいただきたいと思ひます。いかがでございましょうか。

藤田委員 か がいいのではないですか。

林委員 こうみたら、住民が一番わかりやすいのは か でしょうね。あたりがよいのではないか。

平元議長 はい、ただいま貴重なご意見をいただきまして、あたりだろう。しかしながら状況からみると がいいのかなということで、ご提案いただいておりますがいかがでございましょうか。

全員 結構です。

平元議長 満場の一致でございます。ということでよろしくお願ひ致します。続きまして講演会の要旨でございますが、これにつきましても と提案をいただいておりますがいかがさせていただきますらよろしゅうございますか。

辻野委員 思うんですが講演会の要旨は、将来のまちづくりや合併を考え、いまなぜ小規模合併をしなければならないのかということをふまえ、講師が選定されるものであって、われわれが選んでしまつてこれではしゃべれないと言われたらどうなのですかね。

平元議長 いかがですか事務局。

細江局長 ごもつとも意見でございまして、先生と一度話をさせていただいておりますが、今回２町で合併研究会をたちあげておりますが、今まで４回開催させていただいた資料それから設立の趣旨関係の資料等全部先生に渡させていただきまして、大合併より小さい合併、きらりと光る小さい合併がこれからは望ましいと、その方が温かみのある行政運営ができるのではないかとというようなところで、合併の講演会をお願いしたいと申し上げております。この案につきましてもすでに先生の方に送っておりまして、どのような色でも講演会させていただくということで聞かせていただいております、やはり要旨を決めさせていただいて講演会の冒頭に説明させていただいた方がいいのかなということで作らせていただきました。

平元議長 はい、ありがとうございます。いろんな考え方に基づいて講演会の内容を設定していくといったことでありますが、いかがでしょうか。

藤田委員 どのような色でもしていただけるのであればいいのではないですか。

平元議長 内容はそんなに極端なことはございませんが、をテーマにいかにか合致するかというような内容の中で、講演会の趣旨をでという藤田委員さんからのご提案をいただいておりますが、その辺で事務局と講師と折衝等々していただくということでいかがでしょうか。

全員 異議なし。

平元議長 わかりました。そういった方向のなかでやらせていただきたいと思います。次のアンケート調査の実施についてでございますが、これについてはいかがさせていただきます。

辻野委員 はい、よろしいですか。合併議論でわれわれ研究会を進めて行くんですけど、要するに合併研究会の情報を住民さんにどんどん発信していく、それと同時にある程度アンケートをしていくという方向性だと思うのですが、あまりアンケートというのを何回も何回もやったりするというか、その辺の整合性はいかがなものですかね。合併そのものに対するアンケートを、住民サイドより求めるという考え方もあるのではないかと思うのですが。これは、あくまでも講演会だけというのか。

細江局長 すみません、それではアンケートの中身でございますけれども、こちらで考えさせていただき一方的に作らせていただいたものでございます。中身的にとばさせていただいているところは、強烈なことではないようにさせていただきました。愛知郡という合併のこともございますし、あまり強烈なインパクトを与えないということでこの程度ということと、もうひとつ5番目に行政に期待することを挙げておりますけれども、本来これから話を進めてまいりますと、新町の建設計画を最終的に作らなければならないということになっておりますが、その時点においてもアンケート調査をして住民が新しいまちづくりにどのような期待をされているかというのを、アンケート調査をするようになってございます。その前段ということで、こちらの思いとしましては2町の小規模合併で5番目はどのところを期待していただけるか、6番は小規模合併を望まれるかという辺をさぐりたいなということであげさせていただいております。今回これは、講演会に出席していただいた方だけのアンケートをさせていただこうと、それと職員とは区別させていただいて職員は別にアンケートをとらせていただこうと考えておりますのでよろしくお願いします。

平元議長 辻野委員よろしいですか。

辻野委員 はい、わかりました。

平元議長 他にございませんでしょうか。ないようでしたらこの講演会のアンケートということで小規模合併について住民のみなさんはどのようなことを考えるかが、小規模合併を望むかどうかといったことで、アンケートを実施させてい

ただくということによろしゅうございますか。

全員 異議なし

平元議長 ありがとうございます。その他事務局ございますか。

細江局長 ございません。

平元議長 それでは、事務局からのその他の案件は以上でございますが委員の皆様方から、その他何かございましたらお願い申し上げます。

久保田委員 遅れまして申し訳ございません。講演会でございますけれども、いままでに住民対話集会も出席があまりかんばしくなかったということで、この講演会も町民さんの出席率をいかに高めていくかということが、今回の一番のテーマであると私は感じているところでございます。そういったことについて、事務局としては、どんな手段を考えておられるかお尋ねしたいと思います。

細江局長 申し訳ございません。もう少し詳しく説明させていただくとよろしかったのですが、今回の合併講演会は2町の職員につきましては、職員研修の一環としまして当然正職員、嘱託職員、臨時職員も含めまして全員が参加をしなければならないというようなことで、研修の一環という位置づけをさせていただいております。それから、ピラ、研修会だより、広報だけではなかなか来ていただけないということで、議会関係はそうありますが、区長総代、民生委員さん他、大体1町あたり500から700名あたりになるかなと、もう少し絞っている最中ですがいろんな協議会の委員さん全部名前を挙げている最中で、役職のある方ほとんどの方に送らせていただこうかなと思っております。それ以外に社会福祉協議会、商工会、学校のPTA関係、あとは非常勤の特別職の委員さんの方はほとんど挙げさせていただいております。そのようなことで人数に限りがありますが、ちょっとオーバーするような人数でひろいあげさせていただいております。今、ピラを案として配らせていただきましたけれど、これを印刷しまして全戸配布とそれぞれの役員の方に、先程来決めていただきました開催要旨を文書で通知をさせていただいて参加を促そうかなということで考えておりますのでよろしくお願い致します。

平元議長 よろしゅうございますか。

久保田委員 わかりました。

平元議長 他にその他でございますか。藤田委員どうぞ。

藤田委員 アンケートで気がついているのですけれど と のこの辺の接点が私には理解できない。本日の講演をお聞きになって今後の行政に最も期待することは何ですか。いいことが6項目書いておりますので、そのためには市町村合併が必要だともいいますかと聞くと、当然必要だとなる。この辺のかみあわせがちょっと理解できないのですが。6項目ものすごくいいことが書いてあるんですね。行政に期待することを2つ選んでアンケートに書いて、そのためには、市町村合併が必要だと思いますかと。この辺が私には理解できないのですが。

平元議長 はい、ありがとうございます。設問内容の流れが誘導しているのではないが、このようなことも含めてのご質問でございますが。

細江局長 多少はそのようなことも含めておりますけれども、 の 1 から 6 まであげさせていただいておりますけれども 1 番目が公共施設の広範囲の利用ということになるのですが。それから、2 番目が広域的な道路網の基盤整備。1 番 2 番もちろんですがあとについては、合併をするしないにかかわらず求められているものばかり挙げているという解釈をしていますので、今のご質問の意味はわかりますが、そのようなことで挙げさせていただいております。

藤田委員 私もヘソがまがっていますが、もっとまがっている人がいると思います。その辺を十分注意をしていただきたいと思います。

平元議長 はい、ありがとうございます。これは、すべて行政に望むことであるというようなこと。したがって の “ そのためには ” を消してはどうですか。 の設問の前半の “ そのためには ” を消して “ 市町村合併が必要だと思いますか ” ということにしたらどうでしょうか。

藤田委員 はい、よろしいです。

平元議長 そのようなことで設問 6 の “ そのためには ” を抹消するということをお願い致します。他にその他でございませんか。

徳田委員 アンケートのなかで設問 5 の 3 番ですね、地域の存在感や格が向上し地域のイメージアップが図れるまち。格が向上しということで、格という意味はだいたい想像つくのですが、そういったものを使うといったことについて、ちょっと検討が必要ではないかなというふうに思います。

平元議長 はい、この格とはどのようなことを指すのですか。

細江局長 私も作ってからこれはどうかなという思いをしております、いま質問いただきありがとうございます。若い世代におけるイメージかなというような解釈をしておりますが、後にイメージアップということが書いておりますので、やはりふさわしいかふさわしくないかとなると、やはり除いた方がいいかなという気持ちも持たせていただいておりますのでよろしくお願い致します。

平元議長 はい、それでは 3 番につきましては、十分その辺を精査して設問の文章を変えていただくということでどうですか。

全員 結構です。

平元議長 他にございませんか。

森副会長 一つだけ聞いておきたいことがあるのですが、この講演に関してですけれども、当日当然質問等をお受けになると思うのですが、これはあくまでも講演者のみに対するものだけ受け付けて、答えをいただくのか、あるいは合併論に対してもっと詳細につっこまれた場合に、町・研究会としてどういった答えをだしていくか、ということを考えておかないと、質問がどの程度でるかわかりませんが、この講演に対する

質問が講演者だけで答えられるものであればいいですけど。合併研究会の中にゴチャになって入ってくる気がしますので、そのような時どうお答えされるのか聞いておきたいと思います。

細江局長　今回講師の先生をお招きして講演会ということで考えております。シンポジウムではございませんし、合併等についてのいろいろなご意見につきましては、先生に対する質問等はある程度時間をきって１～２問程度ぐらいにさせていただいて、それから合併研究会等につきましてはの要望意見につきましては、アンケート調査の一番最後に書いていただきたいと思います。また、そのようなものの意見を集約させていただいて、回答なりを研究会だよりの方へ載せさせていただこうかなと考えておりますのでよろしくお願い致します。

平元議長　はい、ありがとうございました。それでは、前段の会議をこれで閉じさせていただいて、休憩をさせていただいて後ほどフリートーキングをさせていただきたいと思います。再開を３時１０分からということでよろしくお願い致します。ありがとうございました。